

とらいあんぐる

「とらいあんぐる」とは…

利用者様と家族様、地域の皆様、私たちみゆきの丘の“つながり”を表した言葉です。

〒999-3161

山形県上山市弁天2丁目2-11

☎023 (672) 8585

みゆきの丘

検索

みゆきの丘 夏祭り



令和になり初めての夏祭り☆今年は「和」～懐かしい夏祭り～をテーマに、施設内を職員手作りの獅子舞が舞い、オープニングは高校生による花笠踊りや迫力ある伝統太鼓の演奏で賑やかに開幕しました！昨年に引き続き、外のピロティでは地元店舗の皆様の協力による出店、職員による縁日や屋台がありました。利用者様や地域の方の交流も生まれ、祭りを一層楽しく盛り上げていました♪ 午後のイベントはのど自慢大会を行い、利用者様が緊張しながらも素敵な歌声を披露して下さいました。最優秀歌唱賞の方は満面の笑みで喜ばれていました。「昔を思い出すなあ。」と涙を流す方や、笑顔で楽しめる利用者様の姿を見て、たくさんの感動を頂きました！ご来場下さいました利用者様、ご家族の皆様、ボランティアの方々、本当にありがとうございました。

夏祭り実行委員長 岡崎真由美



3番街

介護職の役割

3番街チーフ 手島みゆき



みゆきの丘3番街は、認知症の方を専門としたフロアとなっており、入所者様にあわせた環境の中で安心して生活が送れるようスタッフが関わりを持ち、その方にあったサービスの提供を行っております。入所者様の日常生活が充実した楽しいものになるように、そして在宅復帰を目指して頑張っているところです。

日々のケアをしっかりとしていこうと、一人ひとりの入所者様へ目を向けコミュニケーションを図りながら

信頼関係を構築し、なじみの関係を作るにはどうすべきかを考えております。関わりを多くもつためには、入所者様とスタッフで行なうレクリエーションが重要な役割を果たします。そのひとつとして屋外へ出かけることも考えていますが、認知症の方々は環境の変化

に敏感なところもあるため、出来るだけ慣れた環境の中で楽しんで

頂けるようにと試行錯誤しているところです。

日常生活の楽しみを見出し、生活をしながら身体能力の維持・向上を図るため、入所者様に対してどのようなサービスが必要でどんなことをしたいのか、更にご家族はどのようなサービスを希望し、どのような状態になれば在宅生活が送れるのかを考え、今後も多職種で検討しながらより良い入所生活を送り、また安心して在宅復帰が出来るよう支援していきたいと思っています。



リハビリテーション科

リハビリテーションの役割

科長 沼沢千香子



みゆきの丘には、リハビリテーションスタッフが10名配置されています。職種は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士です。

「リハビリテーション」の本来の意味は、「人間らしく生きる権利の回復」です。少し解りにくいかもしれませんが、必ずしも病気になる前や障害を受ける前に戻ることを意味しているわけではありません。ですので、私たちリハビリテーションスタッフは、これから先の生活をより豊かなものにしていくよう、ご家族様や生活環境も含めて支援していきます。

内容

- 1 基本動作練習（起き上がり、立ち上がり、移乗、移動練習）
- 2 日常生活に必要な動作の練習（着替え、トイレ動作など）
- 3 書字、家事などの作業・生活活動
- 4 身体・認知機能の維持向上に向けた運動や活動暮らしやすい環境づくり（環境の提案、介助指導など）



今できている活動、今の楽しみがこれから先も続けていける様、一緒に考え取り組んでいきましょう。

かみのやま訪問看護ステーション

訪問看護ステーションの役割
所長 中川 陽子



こんにちは！かみのやま訪問看護ステーションです。私たちの事業所はみゆきの丘にあり、看護師、理学療法士、作業療法士が皆様の在宅生活をサポートします。

訪問看護とは、病気や障害を持った人が住み慣れた地域でその人らしく生活が送れるように、医師や関係機関と連携を図りながら、看護師や理学・作業療法士がご自宅へ訪問して、必要な看護ケアやリハビリを行うことです。

看護師による訪問では、体温・脈拍・血圧の測定、健康状態の観察を行っています。また、医師の指示による医療処置・医療機器管理、内服薬の管理、栄養状態や排泄状況の確認とアドバイス、清潔面の介助など医療的視点を持って行っています。

理学・作業療法士による訪問では、ストレッチ、筋力増強練習、歩く練習などの機能的なリハビリに加えて、呼吸体操、呼吸に合わせた動作練習などの呼吸リハビリなどを体調や環境に合わせて行い、運動機能や日常生活動作の維持向上を図っています。

私たちは環境調整や介助方法の指導、事故防止や認知症介護の相談・アドバイス、介護支援や不安・疑問など、さまざまな相談にも対応し、一人ひとりに合ったサービスを提供しております。利用に関しては、担当のケアマネージャーにご相談いただくか、直接ご連絡いただければ対応致します。



お気軽にご相談下さい。

かみのやま訪問看護ステーション連絡先: 672-6767

今年も参加!!

花笠恋舞隊



花笠まつりへの参加は今年で3年目でした。昔から踊り手として参加するのが夢だったので、みゆき会として参加できると知ったとき、とても嬉しく思ったのを覚えています。今年も天候にも恵まれ、たくさんの声援の中最後まで楽しく踊りきることができました。参加者全員が一体となって踊る「花笠」。いつか皆様にも披露できればと思います。

リハビリテーション科 山崎 綾華

みゆスタグラム

看護科 主任 村山 真理

セキセイインコを飼い始めて5年になります。一番懐いているハクは3歳の雄。6羽の子供達のお父さんです。その中の1羽はご縁があって他のお家で可愛がってもらっています。ハクはおとなしい性格で活発な子供達から追いかられると私の頭の上に飛んで逃げてきます。お喋りはしませんが、名前を呼ぶと手の平に飛んできてくれます。ご飯の準備をしていると、待ちきれなくて手元にご飯をもらいに来る食いしん坊です。



介護老人保健施設 相談課の役割 ～在宅復帰・在宅支援～

医療福祉相談課主任 青木 智史



『在宅復帰・在宅支援』をキーワードに介護老人保健施設（以後、老健と表記）の役割についてご紹介する今回の第2回目は、「在宅で介護していく不安」に焦点を当てていきます。

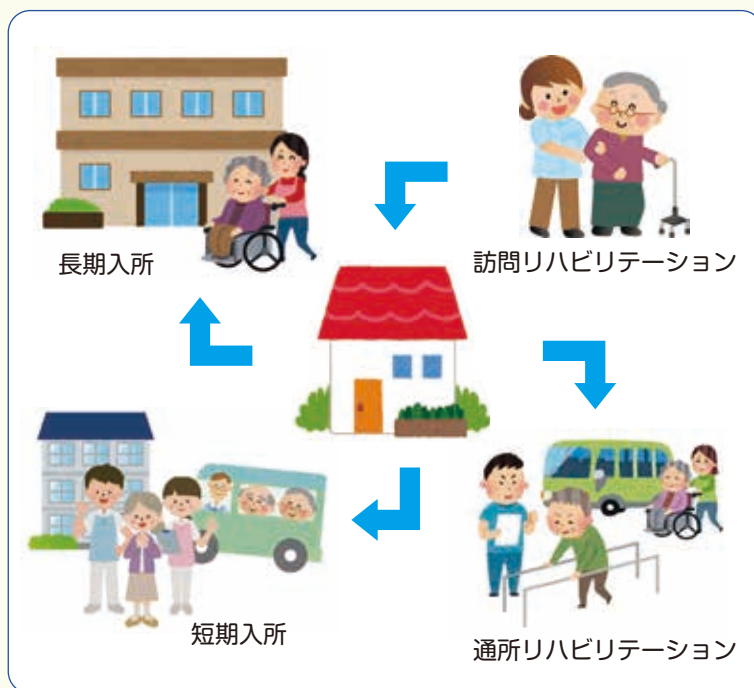
* 私達みゆきの丘は、「在宅復帰専用施設」ではなく「在宅支援施設」です。

突然「え？」と思うようなタイトルで失礼します。「在宅支援施設であって在宅復帰専用施設ではない」と言う矛盾しているように感じられるかもしれませんが、少しお付き合いください。

私ども相談課は、たくさんのご家族様と面談をさせていただく中で、「やはり在宅介護は心配だ」とのお話しをお聞きします。老健に長期入所を希望する皆さんは、自宅での介護生活が難しいから入所を希望する方も多いわけで、在宅に戻ることが不安なのは当然だと思います。

前号でお伝えした通り、持続可能な社会保障のため国は老健に在宅復帰を推進するよう法律が変わり、みゆきの丘も在宅を目指す取り組みをしています。ただ、在宅復帰をして（自宅に帰って）それで終わりではありません。もちろん在宅復帰の取り組みもしますが、それだけではなくご利用様が少しでも住み慣れた自宅で生活が送れるように一人ひとりに合わせた支援をしてまいります。

老健施設が持つ「在宅支援」機能は、右の図のようになります。その他にも、みゆきの丘にはさまざまなサービスがあります。在宅をあまり恐れ過ぎず一緒に今後のことを考えていきましょう。



みゆき会病院 30周年記念事業

● 記念講演会・記念コンサート

日時 11月2日(土) 13時

場所 シベールアリーナ (山形市松ヶ丘)

入場 無料 (先着350名、無料駐車場あり) ※ 事前申込みが必要です。

● 記念講演会

「宇宙と地球のお話

～はやぶさ2 プロジェクトから学ぶこと」

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 研究開発員 武井 悠人先生

● 記念コンサート: ソプラノ歌手 松倉とし子さん

● 記念講話: みゆき会病院長 安藤 常浩

● みゆきの丘「文化祭」

日時 11月3日(日)
10時～15時

内容 屋台・出店、
バザー、野菜販売



● みゆき会病院「健康イベント」

内容 各種健康測定コーナー、ステージ、
イベント

お問い合わせ みゆき会事務局 ☎023-672-8314